



いのち

令和元年 5月 23日 第60号（拡大号）

発行：三重県骨髄バンク推進連絡協議会

住所：津市島崎町 314 番地（食肉組合内）

TEL：059-226-8406（Fax 兼）

Eメール：inochi@nurse-jp.com

<http://inochimie.jimdo.com/>

私達「勇気の会」は令和も駆け抜けます！！ 会長 南 信行

昭和 47 年、三重大学医学部附属病院血液内科に
入局した当時は、「白血病や重症再生不良性貧血」は
「不治の病い」であり、患者さんには「本当の病名」
を告げることができず、「骨髄機能低下症」という病
名を付け、苦しい説明をしていた時代でした。

昭和 50 年代に入り、成分輸血が可能な「連続血
球分離装置」や感染防御のための「無菌病室」が導
入され、血液難病に対する治療が新たな時代へと入
って行きました。

骨髄移植のためには、「HLA（ヒト白血球抗原）
一致のドナーが居る」ことが不可欠です。兄弟姉妹
が 4 人以上であれば、HLA 一致のドナーが見つかる
と言われていますが、少子時代の今日では兄弟姉
妹間でドナーを見出すことは極めて困難です。また、
非血縁者から HLA 一致のドナーが見つかる確率は、
数百人～数万人に一人です。

昭和 63 年、県職員の娘さんが「血液難病」を発
症し、その仲間達が「娘さんを救おう！」と「骨髄
提供者探し」に立ち上がりました。そして、同年 12
月、患者さん家族・県職員の方々が中心になって「三
重県骨髄献血希望者を募る会」が発足し、平成 4 年、

「三重県骨髄献血希望者を募る会」を「勇気の会（現
在の三重県骨髄バンク推進連絡協議会）に組織変更
し、活動を続けています。

その当時、「骨髄提供者探し」は全国的な広がりを見
せ、ついに平成 3 年 12 月、「財団法人骨髄移植推
進財団」の設立が認可され、現在の「日本骨髄バン
ク」が発足しました。

全国的な骨髄バンク運動は、発足当時マスコミにも
度々取り上げられ、芸能人・スポーツ選手などの
応援も得て、発展し続けて来ました。しかし、最近
では、マスコミにも取り上げられることも少なくな
り、国民の関心も低下してきて「ドナー登録者数」
も伸び悩んでいます。

私達「勇気の会」は、患者さんとその家族、ボラ
ンティア、行政・医療従事者が一緒になって「街頭
での啓発活動やシンポジウムの開催」など様々な活
動を通じて 30 年間、「骨髄ドナー」を募ってきまし
た。

どこかで移植を待ちながら闘病をされている患者
さんに、移植のチャンスを与える「勇気の会のボラ
ンティア活動」には是非参加してください。

令和元年度勇気の会会費について

勇気の会の運営にご賛同頂きありがとうございます。

今年度の会費につきましては、総会のご案内送付時に振込用紙を同封させていただきます。

また、振込用紙以外での振込をご希望の方は、下記口座への振込をお願い致します。但し、こちらからの郵送の振込用紙以外の会費納入は、振込手数料が発生致しますのでご了承ください。

活動には費用がかかります。ご寄付のご協力も頂けると幸いです。

今年度も会の活動にご理解とご協力を、賜りますようよろしくお願い申し上げます。

【銀行振込の場合】

百五銀行県庁支店（普）121298 勇気の会

会費 個人会員一口 1,000 円（何口でも可） 法人会費一口 3,000 円（何口でも可）

三重県骨髄バンク普及啓発シンポジウム開催！！

事務局 藪内 紀子

平成30年10月27日(土)、三重県主催の三重県骨髄バンク普及啓発シンポジウム『骨髄移植を必要とするために、今、私たちにできること』が開催されました。

私達、勇気の会メンバーも啓発応援として運営のお手伝いを行ない、ロビー活動をさせていただきました。近年の活動は、献血並行型登録会での啓発が中心であるため、こういったシンポジウムが新鮮に感じ、また、今後の活動に大きな影響を与えると実感しました。

さてシンポジウムの内容は、骨髄提供のご経験者である俳優の木下ほうか氏をお招きしたシンポジウ

ムで、お子様や高校生などを含む、127名の方に来場して頂きました。



第1部 木下ほうか氏 × 三重県知事鈴木英敬氏対談

第2部 『骨髄移植を経験して～皆さんに伝えたいこと～』

シンポジスト ; 骨髄提供経験者 木下ほうか氏

骨髄移植経験者 ; 竹内健斗氏

医療の立場から ; 三重大学医学部附属病院医師 藤枝敦史氏

第1部では、三重県の骨髄バンク登録の現状や問題点などを鈴木知事が説明された後、木下氏より骨髄提供経験者の視点から、制度の問題点など骨髄提供をしやすい方法を模索する必要があるのではないかと指摘がありました。さらに、木下氏ご自身の骨髄バンクに登録をされた時の話も聞くことができ『とりあえず、ドナー登録をしてみてもどうですか？ そんなにハードルの高いものではない』と、ドナー登録を呼びかけました。

第2部では、実際に骨髄提供を受けた竹内健斗氏と骨髄提供をされた木下ほうか氏、医師の立場から三重大学医学部附属病院の藤枝敦史氏による3者対談が行われました。

藤枝氏は、医師の立場から、骨髄移植の方法をスライドを用いてわかりやすく解説し、また骨髄提供者が一般的に心配になる事柄である「骨髄採取までの検査や採取方法」、「検査の日程や入院期間」、「採取後の身体状態など」も説明して頂きました。

竹内氏からは、発症から現在に至るまでの闘病生活を具体的にお話いただき、移植時の大変さやその

時の思いを話して頂きました。

木下氏からは、『骨髄を提供した後、患者さんから手紙はもらったけど、そんなに大変な思いをしていたとは思わなかった』と驚かれていました。

ドナー登録には年齢制限があり、全国的に新規登録者よりも登録抹消の方が上回り、登録者数が年々減少傾向にあります。

骨髄バンク登録を増やすための活動を県内各地で行っていきます。今回のシンポジウムを通し、多くの方に骨髄バンクへのご理解とご協力を得られたらと思います。



『骨髓バンクトークセッション』 四日市支部 川北 いくみ

平成30年12月19日、桑名高等学校衛生看護科の生徒および教員18名の方達との骨髓バンクトークセッションが開催され、勇気の会四日市支部の2名がゲストとして参加しました。

まず、桑名保健所衛生指導課の南川課長の「将来、医療機関に携わる皆様に骨髓バンクについての知識を深めて頂きたい」との挨拶から始まり、同じく衛生指導課の楯川主査が骨髓について、造血幹細胞の移植・骨髓バンクの現状について、スライドを用いて分かりやすく説明されました。

その後、勇気の会四日市支部長 相馬春雄氏が義理の兄が白血病でドナーが見つかる前に亡くなってしまった事をきっかけに、骨髓バンクにドナー

登録をした事、その後ドナーとして造血幹細胞を患者さんに提供した体験を話されました。

トークセッションでは円座になり生徒との質疑応答となりました。



質疑応答抜粋

Q ドナー提供者になって怖くなかったのですか？（生徒）

A その当時は今よりも詳しい知識がなかったからかえって良かったのかも知れない。怖いという思いはなく、移植できず亡くなった兄の為に移植を必要とする患者さんを助けたいと思った。（相馬氏）

Q ドナーとして造血幹細胞を提供してからどれくらいで社会復帰できたのですか？（生徒）

A 私の場合は2～3日で退院できて、すぐ社会復帰できました。（相馬氏）

その他、相馬氏が骨髓移植あるある話をされて生徒達は興味深く聞いていました。

今回参加した生徒達は将来骨髓移植を必要とする患者やドナーをサポートする仕事に就くかも知れないので、今回の講演をきっかけとしてこれからの勉強や活動に役立てて頂きたいと思いました。

平成30年度も人の温かみを感じることができました

平成30年度も様々なイベントなどで骨髓提供希望者を募る運動や成分献血への協力を求める運動をおこなってきました。そのうちの一部をご紹介します。



献血受付者数 50名 献血者数 43名
骨髓バンク登録者数 7名。

皆さんご協力ありがとうございました。
(イオン阿児店にて)



献血&骨髓バンク登録窓口開設のお手伝いに行ってきました。60数名の方に献血して頂き、骨髓バンクには14名登録。皆さんご協力ありがとうございました。

(アピタ伊賀上野店にて)

平成30年度の三重県の取り組み状況について 三重県医療保健部薬務感染症対策課 森 尚義

三重県では、献血併行型ドナー登録会を中心に、県内の関係機関と協働し、骨髄バンクにかかる普及啓発とドナー登録者の確保に努めてきましたが、少子高齢化の影響もあり、平成27年度から3年連続で骨髄ドナー登録者数が減少していました。

このような状況を受けて、平成30年度は、新たに ①「三重県骨髄バンク普及啓発シンポジウム」(平成30年10月27日(土):四日市)の開催、②「三重県骨髄ドナー登録説明員養成研修会」(平成31年2月24日(日):尾鷲)の開催、③クラウドファンディング(ふるさと納税)を活用した骨髄バンクの普及啓発のための冊子「いのちの贈りもの」の発行、④県、市町、三重県赤十字血液センター、ボランティア団体等が集い、骨髄バンク事業の推進に向けた情報交換や協議を行う場である「三重県骨髄提供の環境向上委員会」の設立に取り組みました。



その結果、勇気の会をはじめ、関係機関の皆さまの強力なお力添えもあり、平成30年度の三重県の新規骨髄ドナー登録者数は大幅に増加しました(395件:暫定値)。

今後も、関係機関の皆さまと密に連携を図り、これまで以上に、骨髄バンクにかかる普及啓発とドナー登録者の確保を推し進めていきますので、引き続き、勇気の会の皆さまのご協力をよろしくお願い致します。

骨髄バンクボランティア東海北陸ブロックセミナーに参加して 藪内 伸介

平成31年3月2日に、愛知県・岐阜県・福井県・石川県・三重県の骨髄バンクボランティア団体が集まり、ボランティア間の交流を深めるブロックセミナーに参加してきました。

前半は、石川県赤十字血液センター所長 塩原信太郎講師の基調講和「輸血の進歩と骨髄移植の歴史」でした。



私自身、同じような話は何回も聞いて勉強してきましたが、何回聞いても骨髄移植に関する治療

の進歩の凄さに驚くのですが、講師の方々には口を揃えて言います「まだまだ治癒率を上げたい、再発を抑えたい、生存率を高めたい」と。

でも、私には治療をしたり、看護をしたり、薬を開発したりする事はできません。

私ができる事はバンクのドナー登録者数を増やす活動くらいなので、できる限りの協力をしていきたいとセミナーに参加して、改めて思いました。しかし、最近が高齢社会のためなのか、新規のドナー登録者数が、55歳を超えて登録抹消されるドナー登録者数を下回っているため、登録者数が減っていく一方です。

それを止めるべく、のぼりを担いでマラソン大会に参加したり、ご当地検血キャラでアピールしたり、学校に「かたりべ」活動に行ったり、各ボランティア団体が色々な活動をされていました。後半は、そのような話題で各団体と意見交流ができて、参考になる話を沢山聞くことができ、良い刺激になりました。

ヘルプマークを知っていますか？ ～援助が必要な人のためのマークです～

ヘルプマークは、外見からわからなくても、援助や配慮を必要としている障がいのある人や病気の人などが、日常生活や災害時などで困ったときに周囲に示し、支援や理解を必要としていることを知らせるためのマークです。

かばん等にぶら下げて使う「ヘルプマーク（ストラップ）」と緊急連絡先などを詳しく書ける「ヘルプカード」があります。

【お願い】
ヘルプマーク
見かけたら

電車やバスの中で席を譲りましょう
お困りのようであれば声をかけましょう
災害時などに、避難の支援をしましょう

【配布窓口】 県地域福祉課、県福祉事務所・保健所、障害者相談支援センター、市町福祉担当課（代理の方も受取可。郵送窓口は地域福祉課のみ）

【お問い合わせ】 三重県子ども・福祉部地域福祉課ユニバーサルデザイン班

電話：059-224-3349 メールアドレス：ud@pref.mie.ig.jp



※ヘルプマークは、赤の背景に白のプラスとハートのデザインです。



詳しくは県HPへ

みなさまの献血が医療を支えています

【献血とは】 献血とは病気の治療や手術などで輸血を必要としている患者さんのために健康な人が自らの血液を無償で提供するボランティアです。

病気やけがの治療のために、日本国内では毎日約3,000人もの患者さんが輸血を受けているといわれていますが、輸血に使用する血液はまだ人工的に造れず、長期間の保存もできません。

近年では、少子高齢化の影響などによって、10代から30代の若年層協力者が全国的にも減少しており、血液の安定供給に支障をきたす恐れもあります。

今後も患者さんに輸血用血液を安定的に届けるために、今まで以上に若い世代をはじめ、幅広いみなさまのご理解と継続的な献血へのご協力をお待ちしております。



三重県赤十字血液センター
〒514-0003 津市桜橋2丁目191番地
【電話】 059-229-3582
【受付時間】
全血 9:00～11:45/13:00～16:30
成分 9:00～11:00/13:00～16:00
【定休日】 土曜、年末年始



献血ルーム サンセリテ
〒510-0086 四日市市諏訪栄町6番地4号
近鉄四日市駅前「スターアイランド」4階
【電話】 059-355-5863
【受付時間】
全血 10:00～11:45/13:00～17:30
成分 10:00～11:00/13:00～17:00
【定休日】 火曜、年末年始



献血ルーム ハートワン
〒516-0008 伊勢市船江1丁目471-1
ショッピングセンター「ミタス伊勢」内
【電話】 0596-25-7821
【受付時間】
全血 10:00～11:45/13:00～17:30
成分 10:00～11:00/13:00～17:00
【定休日】 金曜、年末年始

令和元年度勇気の会定期総会のお知らせ

令和元年度勇気の会定期総会を、下記のとおり開催します。会員の皆様に、令和元年度の事業計画・予算（案）を承認いただく大切な総会です。ぜひご参加をお願いいたします。また、併せてボランティア座談会を開催します。

会員の皆様だけでなく、ご興味ある方にお声かけいただき、一緒にご参加いただきますようお願いいたします。

願います。

会員の方が、総会を欠席された場合の議決につきましては、議長に委任されたものとさせていただきます。

懇親会も予定しておりますので、参加出来る方は事務局までご一報をお願い致します。



日時：令和元年 6月 29日（土）

場所：三重県赤十字血液センター3階会議室

内容：15：00～15：30 令和元年度勇気の会定期総会

15：30～17：00 記念講演会「血液疾患と骨髄移植」

17：30～19：00 懇親会（和食処処サガミ 津桜橋店：津市桜橋3-446-14）：会費 2,000円

☆ 令和元年度の記念講演会は、「血液疾患と骨髄移植」をテーマに専門医から分かりやすく解説して頂きます。多数のご参加お待ちしております。

ドナー登録者等の状況

☆2019年4月末現在☆ 骨髄バンクを介した骨髄移植数：累計 23,107例

| | ドナー登録者数 | | | 患者登録数（海外含む） | |
|-----|---------|-------|---------|-------------|-------|
| | 4月 | 純増数 | 登録者数 | 累計登録数 | 現在登録数 |
| 三重県 | 19 | ▲1 | 4,677 | 637 | 19 |
| 全国 | 5,322 | 3,509 | 512,775 | 56,404 | 2,160 |

平成30年度（後期）ご寄附をいただいた皆様

☆ 山口キヨミ 40,000円 ☆ 千田龍彦 2,000円

☆ 公益社団法人三重県看護協会 100,000円

敬称略・順不同

編集後記 ～令和元年からの活動～ 事務局長 河村 誠

ボランティアの理念は、「自分から行動すること」「共に支え合い協力し合うこと」「見返りを求めないこと」「よりよい社会の実現を目指すこと」があげられる。

しかし、命との隣り合わせで活動している私達のようなボランティア活動の全てをボランティアでの活動で支え切れるのかと活動が長くなればなるほど考える。

三重県は、この活動が始まった頃から、「行政、日赤、勇気の会」三位一体で頑張ってきた他県から羨ましがられる県である。

新しい年号が始まった今年、再び三位一体で力を合わせて盛り上げたいものです。

勇気の会 FACEBOOK のお知らせ



Facebookはこちら!

勇気の会では日々の活動をFACEBOOKにてご紹介しています。

是非「いいね」をお願い致します。

<https://www.facebook.com/yuukinokai.mie/>